

2014年総選挙 全国知事会 政権公約評価基準（案）

評価項目	配点	評価のポイント	評価方法
1 地方創生の推進	20	☆東京一極集中の是正をはじめとする国土構造の変革 ☆少子化対策の具体的かつ強力な推進 ☆地方への分散配置 ☆自由度の高い交付金の創設	○評点は、各党の「政権公約」及び「要請事項に対する見解」に、各党要請文及びこれまでの本会の決議・提言等における主張が記載されているかを確認して行う。 ○その際、左欄には評価のポイントとして必須と考えられる項目をあげており、評価の参考とする。 ○評価項目ごとに、配点欄の点数を上限に各委員が評点する。
2 地方分権の推進	15	☆提案募集方式による地方からの提案の実現 ☆農地制度の見直しやハローワークの地方移管等の推進	
3 地域経済の再生	15	☆地域経済・雇用対策の取組の伴走支援 ☆早急な景気対策の実施	
4 持続可能な社会保障制度の構築	15	☆国保の財政上の構造問題解決に向けた抜本的な財政基盤強化の提示 ☆子ども・子育て支援新制度など必要な施策の着実な実行	
5 地方安定財源の確保	15	☆歳出特別枠及び別枠加算の堅持 ☆地方一般財源の充実	
6 ナショナルミニマムの確保	10	☆社会資本整備などのナショナルミニマムの確保 ☆事前防災・減災対策の充実、緊急防災対策の実施	
7 東日本大震災からの復興の加速化等	10	☆原発事故の早期収束 ☆産業の復興及び雇用対策の促進	
減点項目	▲50	【▲50点数を限度に各委員が必要に応じて評点する。】 ○政権公約の実現に鑑み、財源の裏付けや、実現のためのプロセスなどが明らかでないもの ○評価項目以外の公約内容で、本会の主張に反するもの など	
合計	100		